

第6回企画展 **NOBORITO 1945** — 登戸研究所 70年前の真実 —

第一期 8月15日までの登戸研究所 8月5日(水)～2016年3月26日(土)

第二期 8月15日以降の登戸研究所 11月18日(水)～2016年3月26日(土)

休館日：12月25日～2016年1月6日、1月16日、2月5日 臨時開館日：11月22日(日)

平和教育登戸研究所資料館では、戦後70年の今年、第6回企画展として「NOBORITO 1945 — 登戸研究所 70年前の真実 —」を開催中です。今回は70年前、戦争が終結した年の登戸研究所の実態に焦点を当てています。

現在公開している第一期では「本土決戦」をひかえて1月から4月まで大規模に実施された風船爆弾作戦と、5月以降、長野県を中心に分散した疎開先での登戸研究所の活動に迫ります。また特別展示として川崎市内に残っていた陸軍の正装(大礼服)を展示しています。

11月18日からの第二期では、敗戦直後から徹底して行われた登戸研究所の証拠隠滅作業と、登戸研究所解散後の元所員たちの戦後を追います。

第一期、第二期共に、今回新たに発見された初公開の当時の貴重な現物展示をまじえて、70年前の

登戸研究所の真実を明らかにします。(椎名記)

企画展開催にあたって館長よりご挨拶

今回の企画展では、70年前の1945年8月までの時期に焦点をあて、「本土決戦」が、地域の人々を巻き込みながら、現実にかかなり準備されていたことを知っていただきたいと思います。風船爆弾作戦をはじめとする〈秘密戦〉と〈本土決戦〉というものを従来とは違った角度から考える機会になれば幸いです。今まで知られてこなかった〈本土決戦〉のための貴重な資料“謀略戦のための兵器”の展示もありますので、ぜひこの機会にご覧下さい。

なお、11月18日公開の第二期では、第一期での展示に追加して、敗戦後の登戸研究所の証拠隠滅作業と元所員たちの戦後にも焦点をあてる予定です。(館長 山田朗)

元登戸研究所関係者による証言会

2015年10月24日(土) 13:00～14:30
生田キャンパス中央校舎6階メディアホール

登戸研究所研究の第一人者である渡辺賢二先生(川崎市文化賞受賞、3頁参照)によるインタビュー形式で、1945年の登戸研究所の実態について、4名の関係者たちが当時についてを語ります。

申込不要
10/24(土)
13時～

●登壇予定者プロフィール(50音順)

會津保進氏

元第四科所属。1944年～45年に少年工員として爆弾を製造。敗戦後の登戸での証拠隠滅作業にも携わる。

栗山武雄氏

元第四科所属。1941年～45年春まで機械工場に勤務。兵庫県小川村への疎開作業にも携わり、小川村にて終戦を迎えた。

正地次男氏

元第三科所属。1939年～45年に登戸研究所に勤務し、敗戦後の偽札製造の証拠隠滅作業にも携わる。

三上峰緒氏

1942年～45年に元陸軍兵器行政本部制式課所属タイピスト。1945年5月以降、登戸研究所の場所に疎開した。

【その他の企画展関連イベント】 ⇒詳細は4頁参照

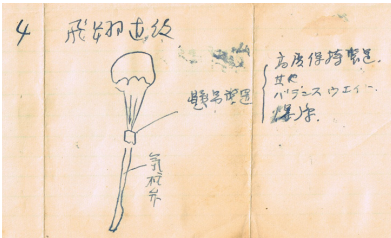
- ・山田朗館長による企画展展示解説 2015年11月21日(土)・22日(日)・2016年2月27日(土) *予約制
- ・企画展記念講演会 2016年1月9日(土)・2016年3月26日(土) *申込不要

● ● ● ● ● 第一期 8月15日までの登戸研究所 ● ● ● ● ●

「ふ号」(風船爆弾) 作戦



風船爆弾について初めて報道した1945年2月18日付「朝日新聞」紙面、「ふ号」作戦の実質上の終わりを告げる「陸軍技術有功章」賞状、風船爆弾研究開発の責任者だった草場季喜氏による風船爆弾第二期放球の可能性を示唆する15m気球関連資料(左)など、今年寄贈を受けたばかりの資料



15m気球実験時の写真(上)
草場季喜氏による写真メモ(下)
(草場浩氏寄贈)

も含んで初公開します。まだその実態がよく解っていない15m気球、草場氏本人によるメモはぜひ見ていただきたいです。(塚本記)

元所員の1945年

登戸研究所元勤務員が召集された際に寄せ書きされた日章旗。檄文には本物の血で書かれている箇所もあり、戦中の遺物の持つ力が感じられます。



日章旗(原真花子氏寄贈)

疎開先の登戸研究所と
継続された秘密戦研究

戦後すぐに研究所疎開先の工場跡から持ち出され、長年保管されていたものがこのほど発見されました。全長約1mの棒状で、これに火をつけると20cmほどの炎が出ます。実際に登戸研究所が製造した放火用謀略兵器、またはその部品であれば、現存する唯一のものであります。(椎名記)



登戸研究所製造の謀略兵器と
考えられるもの
(矢澤古里氏寄贈)

● ● ● ● ● 第二期 8月15日以降の登戸研究所 ● ● ● ● ●

登戸研究所の証拠隠滅作業

登戸研究所の長野県での疎開先の工場・研究室として使用されていた中沢国民学校(現・駒ヶ根市立中沢小学校)では、敗戦の日から研究機材などを燃やし埋めるなどの研究所の証拠隠滅活動が行われました。その証拠となる、小学校の校庭から近年出土した実験器具らしきガラス片などの一部をご覧ください。



中沢小学校出土物
(駒ヶ根市教育委員会寄贈)

長野県でのその後

長野県に疎開した元所員の中には戦後、現地で起業した人もいました。元第二科第一班班長で、疎開先では伊那村分工場長であった伴繁雄氏は「上伊那農村工業研究所」を設立、現在の農協にあたる農業会指定工

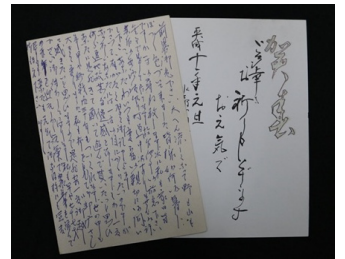


「VENTナイトクレンザー」
(新井幸徳氏寄贈)

場となり家庭用品などを製造しました。その伴氏の工場で製造されたと考えられる「VENTナイトクレンザー」を初めて公開します。(椎名記)

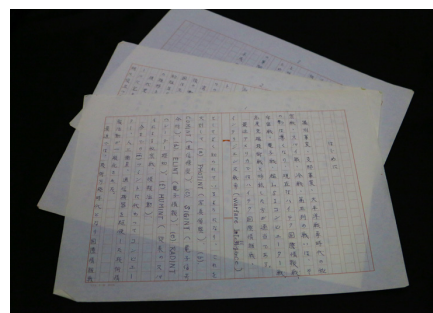
登戸研究所関係者の戦後

長野県の他に、登戸研究所は兵庫県・小川村へも疎開をしますが、その際の下宿先と元勤務員が戦後も長きに渡って交流があったことを示す書簡類を初公開します。



兵庫県・小川村下宿先と戦後交わした書簡類(栗山武雄氏寄贈)

その他には、伴繁雄氏の手記『陸軍登戸研究所の真実』草稿を初公開します。伴氏は生涯最後の仕事としてこの手記を残しました。何度も手が入れられた跡が草稿には残り、伴氏の手記を残そうという強い思いが伝わってきます。(塚本記)



『陸軍登戸研究所の真実』草稿
(伴和子氏寄贈)

資料館からのお知らせ

第6回企画展

「NOBORITO 1945 - 登戸研究所 70 年前の真実 -」関連イベント

◆証言会 ⇒ 詳細 1 頁参照

申込不要・定員 280 名 (当日先着順)・参加費無料

元登戸研究所勤務員や関係者の方に、1945 年当時の登戸研究所についてお話しいただきます。

日時：2015 年 10 月 24 日 (土)

13:00 ~ 14:30 ※開場 12:30

会場：生田キャンパス中央校舎 6 階メディアホール

◆山田館長による企画展展示解説

事前予約制・各回定員 20 名・参加費無料

2015 年 11 月 21 日 (土) ① 13 時 -14 時

② 15 時 -16 時

2015 年 11 月 22 日 (日) * 13 時 -14 時

2016 年 2 月 27 日 (土) 13 時 -14 時

*11/22(日) は生明祭のため臨時開館

◎事前予約制 (定員 20 名) です。下記の電話、FAX、Eメール (本文にアドレス明記) のいずれかでお申し込みください。申込時に希望日・お名前・人数・連絡先 (携帯番号等) をお知らせください。

◆企画展記念講演会

申込不要・各回定員 280 名 (当日先着順)・参加費無料

●第一回「NOBORITO 1945

- 8 月 15 日までの登戸研究所 -

第1回終了

●第二回「NOBORITO 1945

- 8 月 15 日以降の登戸研究所 -

日時：2016 年 1 月 9 日 (土)

13:00 ~ 14:30 ※開場 12:30

講師：館長 山田朗

●第三回「長野県に疎開した登戸研究所と高校生たちとの調査」

日時：2016 年 3 月 26 日 (土)

13:00 ~ 15:00 ※開場 12:30

第一部 講演会

講師：長野県辰野高校教諭 木下健蔵氏

第二部 パネルディスカッション

パネリスト：木下健蔵氏，渡辺賢二先生，山田朗館長

【第二回・第三回記念講演会会場】

生田キャンパス中央校舎 6 階 メディアホール

見学会 (2015 年 10 月 ~ 2016 年 3 月) 事前予約制・各回定員 25 名・参加費無料

生田キャンパス内の登戸研究所史跡と資料館の展示を解説つきでご案内します。解説は山田朗館長または登戸研究所研究の第一人者・渡辺賢二先生です。

◎山田朗館長 解説日 (すべて土曜日)

10 月 17 日, 11 月 28 日, 12 月 5 日, 1 月 30 日, 2 月 20 日, 3 月 12 日

◎渡辺賢二先生 解説日 (すべて土曜日)

10 月 3 日, 11 月 7 日, 2 月 6 日, 3 月 5 日

生田キャンパス中央校舎 1 階ロビーに 13 時集合。所要時間は約 2 時間。参加費無料です。

事前予約制 (定員 25 名) です。下記の電話、FAX、Eメール (本文にアドレスを明記) のいずれかでお申し込みください。申込時にお名前・人数・連絡先 (携帯番号等) をお知らせください。

2015 年 9 月 30 日現在の累計来館者数は 45,120 名です

編集・発行：明治大学平和教育登戸研究所資料館

発行日：2015 年 10 月 7 日

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1

明治大学生田キャンパス

TEL/FAX : 044-934-7993

E-mail : noborito@mics.meiji.ac.jp

URL : <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

[twitter](https://twitter.com/meiji_noborito) https://twitter.com/meiji_noborito

[facebook](https://www.facebook.com/Noboritoshiryokan) <https://www.facebook.com/Noboritoshiryokan>

◀利用案内▶

開館日：水曜日～土曜日 (日・月・火 休館)

*臨時開館日：11/22 (日)

*その他休館日：12/25 ~ 1/6・1/16・2/5

開館時間：午前 10 時～午後 4 時

入館料：無料

*10 名以上の団体見学は 1 か月前までに電話またはメールにてご予約をお願いします。団体で日曜日に見学希望の場合は事前にご相談ください。

*ガイドをご希望の場合はご予約をおねがいします。